



川崎中ロータリークラブ会報

KAWASAKI NAKA ROTARYCLUB/FOUNDED 1972.7.15

【2021-22 年度 地区方針】“クラブ基盤のさらなる充実強化”～会員の増強こそが最大のサービス(奉仕)～

<p>会 長 貝田 充 副 会 長 金子 利昭 幹 事 原 敏之 S A A 渡邊 新治 会報委員長 小島 徹</p>	<p>2021～2022 第 2337 回例会 2022 年 1 月 25 日</p>	<p>例会日 毎週火曜日 12 時 30 分点鐘 例会場 川崎市中原区小杉町 3-10 ホテル精養軒 TEL(044)711-8855 事務所 川崎市中原区小杉町 3-428 山協ビル 402 号 TEL(044)722-4331 FAX(044)722-6334 E-mail: k-naka@galaxy.ocn.ne.jp URL: https://www.kawanaka-rc.com</p>
---	---	---

例 会 報 告

開会点鐘	貝田 充会長
司 会	大友 徹副会場監督
合 唱	「我らの生業」
お客様紹介	一尾 亮輔親睦活動委員

・三浦 淳様 公財)川崎市産業振興財団 理事長
 ・小川 湧三様 川崎鷺沼ロータリークラブ
 ・クルーズ由美子様 川崎北ロータリークラブ

市川 宏 会員 長谷川俊雄会員 叶野 聡会員
 鹿島 義久会員 長戸 隆彦会員 志村 修司会員
 渡邊 新治会員

ニコニココーナー

片岡 英之(会場監督補)

小川 湧三様:お世話になります。
 貝田 充会長:公益財団法人川崎市産業振興財団理事長 三浦淳様、本日は卓話ありがとうございます。カワサキの今、そして未来のお話を大変楽しみに聴かせて頂きます。
 原 敏之幹事:三浦様本日はお忙しいところありがとうございます。卓話よろしくお願ひします。
 金子 利昭副会長:川崎市産業振興財団理事長 三浦淳様本日の卓話よろしくお願ひいたします。
 野口 新二会員:おはようございます。今年もよろしくお願ひ致します。日曜日(9:20~16:30) RLI II 研修に出席しました。
 川口 禮敬会員:三浦淳様お久しぶりです。副市長時代にはお世話になりました。おげんきのようですね。本日は卓話ありがとうございます。
 小島 徹会員:三浦様、本日はお忙しい中卓話ありがとうございます。
 稲富 正行会員:三浦淳様、以前より大変お世話になりました。本日のご講演楽しみにしています。
 島 利夫会員:コロナが大変です。注意しましょう。

今後のプログラム予定

2 月	プログラム名
2 月 8 日	休 会
2 月 15 日	卓話 川崎市 健康福祉局 健康安全研究所 企画調整担当部長 三崎 貴子様

出 席 報 告

廣山 宗一副出席委員長

会員数	出席数	欠席数	出席率	前々回訂正出席率
43 名	31 名	12 名 対象外 (7)	86.11%	欠 5 名 対象外 (4) MU0 名 97.44%

【本日の欠席者】 三木 治一会員 小林 敏伸会員
 志村 修一会員 齊藤かおり会員 小島 満 会員

細山 勝三郎会員:公益財団法人川崎市産業振興財団理事長 三浦淳様本日は卓話ありがとうございます。

卓 話 公益財団法人川崎市産業振興財団理事長 三浦 淳 様

合計	10 件	11,000 円
累計	238 件	321,000 円

会 長 報 告 貝田 充会長

1. 国際ロータリーより、2022年1月のロータリーレートのお知らせが届いております。1ドル=115円ご参考) 2021年12月=114円
2. 川崎中央ロータリークラブより、第2590地区第1・2・3グループIM(インターシティミーティング)開催中止のお知らせが届いております。回覧致します。
3. 公益財団法人 ロータリー米山記念奨学会よりハイライトよねやま262が届いております。回覧致します。
4. 地区青少年奉仕委員会 RYLA(ライラ)委員会より、第38回青少年指導者養成プログラムが届いております。(先々週ポスティング済)



紹介者 貝田 充 会長



三浦 淳 (みうら あつし) 様

現職：公益財団法人川崎市産業振興財団 理事長
略歴：1952年 川崎市生まれ。横浜国立大学経済学部卒業 1975年 川崎市役所に入所。

財政局や総合企画局等において、行財政改革、予算編成、総合計画策定等の役職を歴任。2010年に副市長に就任し、臨海部におけるライフサイエンス、エネルギー拠点形成、川崎駅や武蔵小杉周辺地区再開発等、産業施策・まちづくり分野を幅広く担当。宮崎県、世田谷区等との自治体間広域連携協定の締結、民間事業者やNPO法人等、多様な主体との協働・連携のまちづくりを推進。

2018年6月から現職

川崎市産業振興財団においては、新型コロナウイルス感染により大きな影響を受けた中小事業者等に対し、ワンストップの相談窓口の設置を行うとともに、中小企業・ベンチャーの成長支援に向けて、2021年4月から、新たに各種施策を横串に刺した「総合的な相談サービスの提供」をスタートさせ、中小企業の事業再構築支援などを進めている。

また、川崎市と連携し、新川崎地区における

「KBIC本館・NANOBIIC・AIRBIC」を中心としたオープンイノベーションを進めるとともに、殿町キ

幹 事 報 告 原 敏之幹事

1. 例会変更
新川崎 1月26日(水) 休会
2月2日(水) 例会中止
2月16日(水) 例会中止
2月23日(水) 休会
横浜日吉 1月26日(水)
~2月16日(水) 休会
*例会再開は3/9を予定
2. 会報受領 川崎北RC 川崎中原RC 川崎とどろきRC 回覧いたします。
3. 次週2/1は、例会終了後理事役員会を開催致します。関係各位のご出席をお願い致します。
4. <2月の予定>
2/1 通常例会 例会終了後、理事役員会
2/8 休会
2/15 通常例会
2/22 休会

委員会報告 小島 徹情報研修委員長

2月に開催を予定しておりました、情報集会は、新型コロナウイルスの感染状況を鑑み中止とさせて頂きます。

ングスカイフロントにおいては、世界水準のライフサイエンスクラスターの形成に向け、体内病院の実現をめざす「ナノ医療イノベーションセンター」の運営と同エリアにおけるクラスターマネージメントを展開している。

卓話

「大変革の時代におけるカワサキの未来まちづくり！！」

近代 100 年の川崎の産業を中心とした歴史を俯瞰するとともに、日本経済のこの30年を振り返り、今後の30年のカワサキのまちづくりについて、中小企業者・事業者の今後の展開を考えたいと思います。

日本は、戦後の廃墟から様々な困難を乗り越え、「ジャパン・ミラクル」と呼ばれる高度経済成長を成し遂げ、「ジャパン・アズ・ナンバーワン」と言われるようにアメリカにキャッチアップし、世界トップクラスの経済的な発展に成功し、豊かな社会をつくり上げてきました。

しかし、1989年のベルリンの壁崩壊によるグローバル経済がスタートする中で、日本は、新たな経済モデルに転換できず、経済格差は広がり、「貧困」が常態化、経済は30年を超えた現在でも低迷下にあり、今ももがいています。

日本は、「戦後の成長の30年」、「低迷のここ30年」を経験し、そして「今後の30年」にどう立ち向かうのか？

川崎は、人口も増加し、産業をはじめ様々な都市の優位性や魅力を有している日本でも有数の元気都市です。

川崎も含め今後の日本は、少子高齢化、人口減少、地球環境、温暖化、エネルギー、子育て・教育、健康・医療・介護、災害対策・強靱

なまちづくりなど様々な課題が山積しており、持続可能な地域社会・まちづくりが求められています。

Society5.0 と呼ばれる新たな社会へどう変革・チャレンジできるのか？

デンマークや台湾の状況に触れながら、川崎における中小企業・ベンチャーなどの新たな動きを紹介し、今後の川崎のまちづくりを考えたいと思います。

中小企業のめざすべき方向は？生産性の向上・働き方改革など、働く者が幸せに感じられる生活環境・地域づくりが重要です。ピンチはチャンス、健全な危機意識を共有し、それぞれの中小企業・事業者は何をなすべきか？

川崎市産業振興財団も、そうした支援に本気で取り組んでまいりたいと思います。